

(縁・円・援)

兵庫えんだより



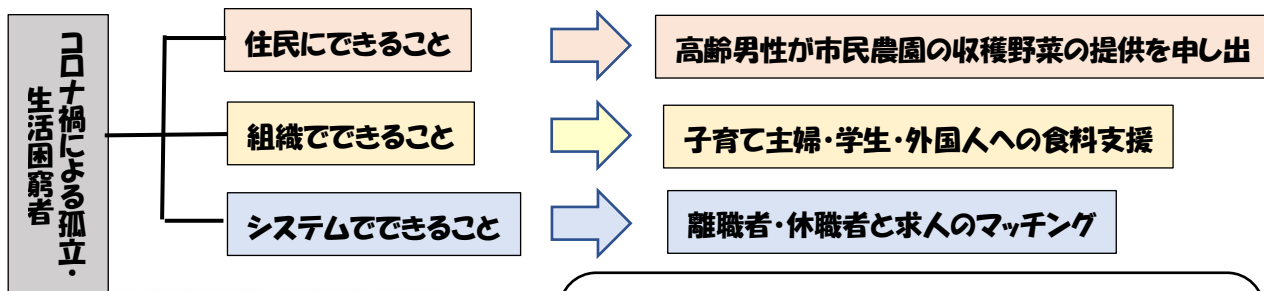
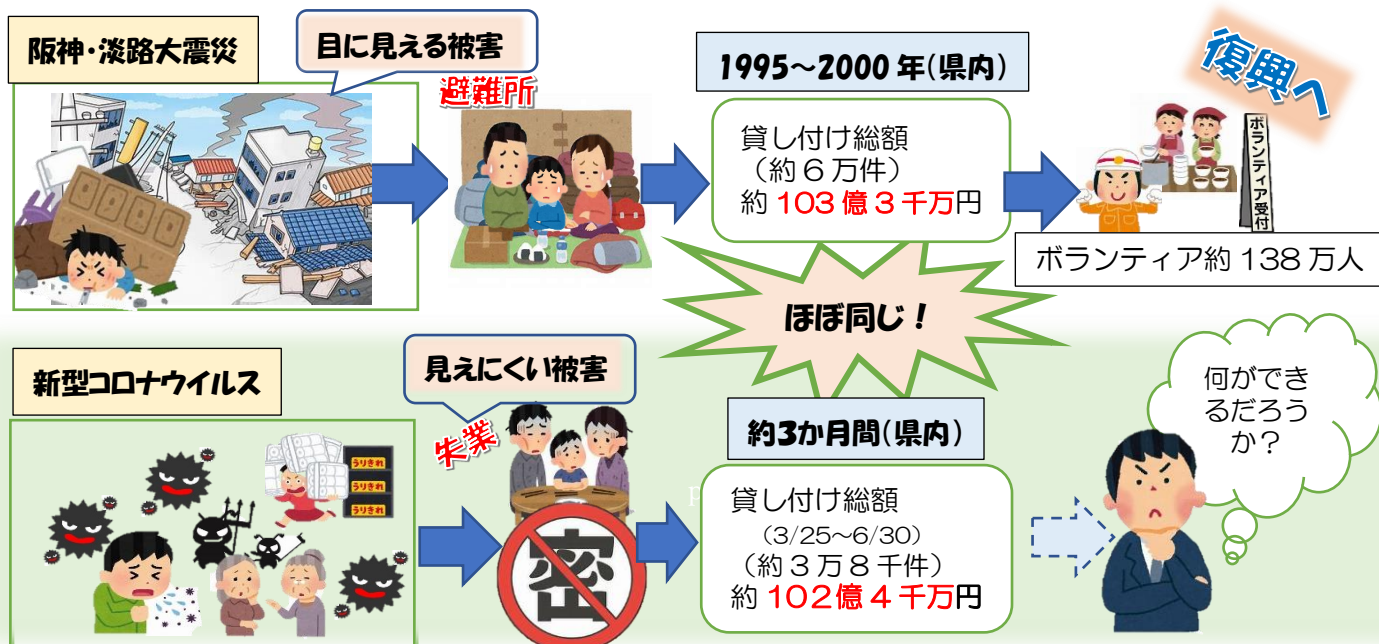
このニュースレターは、市町社協の生活支援コーディネーター、住民等が創意工夫しながら行われている生活支援、地域活動をお伝えするために発行いたします。

～見えにくい災害、見えにくい被害に心を寄せて～

新型コロナウイルス感染は、阪神・淡路大震災のような家屋等の被害はもたらしませんでした。その被害は、全国的・長期的に、集いの場の開催を難しくし、つながりが途絶えるリスクだけでなく、失業等、目に見えにくい形でも広まりました。兵庫県もその例外ではありません。

特に現役世代の生活困窮の影響が深刻で、社協がかかわる生活福祉資金の特例貸付の件数・総額は、阪神・淡路大震災と現在、ほぼ同じです。今回は住民・組織・システムとして、生活困窮者や孤立に対しどのような支援ができるのか、住民の気づき、食料支援や仕事のマッチングなどの事例とともに考えます。

今までと異なる災害で何ができるか？



※この「兵庫えんだより」は、地域の活動者や職員間で共有し、活動の一助にしてください。そして、新たな実践がありましたら教えてください。

【発行元】(令和2年7月10日発行)
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号
兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部
TEL 078-242-4634 FAX 078-242-0297
E-Mail: chiiki-2@hyogo-wel.or.jp (担当: 山下・永坂)

コロナで生活に困っている・孤立しそうな方々へのかかわり

住民にできること

曲がったキュウリでも役に立たないか？



ここがポイント

今、できること

小さな力を合わせれば大きな力に。今、できることは、次につながります。

ある市の集い場の話し合いで緊急小口資金の借受希望者の窮状を知ったがん治療中の高齢男性。「コロナはとても怖い、自粛中は年金も減らず、市民農園で過ごし、何も変わらなかった。わしが作った曲がったキュウリでも役に立たないか」と申し出てくれました。

組織でできること

子育て層への「さっちゃんまごころお福分けネットワーク」(三田市社協)



ある企業からコロナで困っている人に寄付の申し出を受けました。しかし、困っている人がわからず神戸新聞で広報したところ、約300世帯の子育て層の若い人が集まりました。来場者アンケートには「主人が解雇されて困っていた」等の切実な声もありました。連絡希望者にはLINE登録をしてもらい、社協情報等を流すことにしました。コロナでのつながりをきっかけに、若い人と常につながっていきようとしています。

学生とともにコロナを乗り越えよう(西宮市社協)

学生のまち西宮市では、緊急小口資金の貸付が始まってでも学生が全然来ない。そのことが気になった生活支援コーディネーターは実習でつながっていた関学の学生課を尋ねます。学生課には一日50~60人の学生が訪れ、バイトがなくなり、高齢者がいる実家への帰省も就職活動もできない等の相談をしていました。生活面の支援もなく孤立していたのです。そこでコロナ禍を災害ととらえた企業が食の支援を提供。一方的な食の提供に留めず「学生とともにコロナを乗り越えよう」と、学生たちとの座談会を企画し、地域づくりの視点で考えています。

外国の方をつなぐ(宝塚市社協)

緊急小口資金等の貸付申請に来られた外国人を生活困窮の相談窓口である「生活応援センター」につなぎ、企業等から提供されたお米等を、外国人に渡すように考えています。

システムでできること

「お仕事「えん ~縁・円・援~」プロジェクト」(南あわじ市・南あわじ市社協)

南あわじ市では、障害就労支援B型が人手不足のため、短期間の人材募集をしたところ、あっという間に定員に達し、南あわじ市社会福祉法人連絡協議会でアンケートをしたところ、半数以上が人手不足状態だったことが判明。「これは大事だ」と、医療介護、食料生産、小売などのような業種と、一時的に離職を余儀なくされている方のマッチングを図るために、市役所と連携し「短期間有期求人専用の求人情報」を集約、情報提供をしています。(実施主体は市役所)



ここがポイント

孤立させない

こんな時こそ、誰もが孤立しない社会に。

笑顔のエピソード



これはある住民さんのお話です。「みんなで集まって何かしようとなったんだ。集まって茶話会は出来なし・・・そこでみんなに早起きできるか尋ねたら出来る！ということで早朝5:30から『早起き歩こう会』を呼びかけたら9人集まったんだ。歩くだけではつまらんし、クリーン作戦も中止になったから道路のゴミ拾いをしながら歩いたんだ。これも活動に入るかな？」集団で歩く事に抵抗があった方が、声をかけられ、「早起き・ウォーキング・ゴミ拾い」一石三鳥の取り組み。

住民さんから「あなたがタネを蒔かなければ芽が出ないのよ。種を蒔くことで必ず芽が出るから頑張りなさい」とお声かけをいただいて感動しました。(新温泉町社協：平澤氏)

- 「コロナ負けま川柳」
- 住民から募集!!家でも一人でもできてみんなが笑える
- ディスプレイ
 - うちはとつくに 実践中
 - 三密は どんな味かと 孫が問う
 - マスク顔 上半分の化粧のみ
 - マスクした 嫁が目だけで ようしゃべる
 - 神棚に アマエビ祀り 八工密です (稲美町社協)

【編集後記】

コロナ禍は「見えにくい災害」です。そして「見えにくい被害に心を寄せる」ことは、いつでもどこでも誰にでもできること。その支援の心を「つなぐ」ことが私たちの役割ではないかと感じました。